

研究業績の書式について

- (1) 1. 学位論文、2. 論文Ⅰ、3. 論文Ⅱ、4. 著書、5. その他 の順に記載し、先頭に2～5の総数を記載すること。
- (2) 「論文Ⅰ」と「論文Ⅱ」の区別は鹿児島大学大学院連合農学研究科の教員資格審査判定基準（申し合わせ及び社会科学系の論文の取り扱いについてを含む）に従う。

平成21年1月現在の論文Ⅰの要件

1. PubMed に登録されている学会誌。
 2. Thomson ISI list に登録されているインパクトファクター付き学術雑誌
 3. 日本学術会議協力学術研究団体又は第19期日本学術会議登録学術研究団体が発行する学会誌
 4. その他（連合農学研究科代議委員会で承認された学会誌）
 - 「環境毒性学会誌(出版学会：日本環境毒性学会)」
 - 「北日本漁業（出版学会：北日本漁業経済学会)」
 5. 社会科学系で掲載論文を論文Ⅰにカウントする対象雑誌
 - 『日本の農業』（農政調査委員会）
 - 『東畑四郎記念研究奨励事業報告』（農政調査委員会）
 - 『農業総合研究』（農業総合研究所）
 - 『農林水産政策研究』（農林水産政策研究センター）
 - 『アジア経済』（アジア経済研究所）
- (3) 「論文Ⅰ」、「論文Ⅱ」は学術雑誌に掲載された原著論文とし、それ以外の総説、技術報告、技術解説、報告書、特許、データベース、Proceedings などは「その他」とする。
なお、講演要旨（Abstract）は研究業績には含めない。
- (4) 作成にあたっての注意
1. 英語題名は、原則として始めの1字のみを大文字とし、他は小文字とする。
 2. 発行所、学会誌等の名称は略さない。

(記入例)

研究業績目録

2009年1月28日

佐賀太郎

論文Ⅰ（査読付）：編（第1著者 編，最近5年間 編）
論文Ⅱ：編（第1著者 編，最近5年間 編）
著書：編（第1著者 編，最近5年間 編）
その他：編（第1著者 編，最近5年間 編）

学位論文

L-乳酸発酵をモデルとした回分培養の速度論的解析に関する研究
博士（農学）（九州大学農博乙第1448号）

業績は古い順
に記載。通し
番号をふる。

単著、共著に関わらず
申請者氏名には必ずア
ンダーライン

雑誌名はフルタイト
ルとし、省略不可

Corresponding Author
には右肩に*をつける

論文Ⅰ

論文Ⅰ-1

佐賀太郎，佐賀次郎，佐賀三郎*，1998年
畜産動物の育種と.....
日本農業動物学会誌 4:159-167

論文と論文の間には1行のスペースをあける。ラインなどは引かない。

論文Ⅰ-2

T. Saga，J. Saga，S. Saga，2007年
High-frequency generation of viable mice from engineered bi-maternal embryos.
Nature Biotechnology, 25:1045-1050

論文Ⅱ

論文Ⅱ-1

佐賀太郎，佐賀次郎，佐賀三郎，2003年
日本ウズラ長期選抜系統.....
佐賀大学農学部彙報 88:73-78

著書

著書-1

佐賀太郎 (分担執筆) . 1997 年
育種理論 p.30-34、乳牛の改良 p.349-354
小宮山鉄朗 編
畜産総合事典、朝倉書店

1冊の中に複数の執筆箇所がある時にも1冊として整理する

その他

その他-1

佐賀次郎, 佐賀太郎, 1992 年
出願番号 : 特願平 3-217948 公開番号 : 特開平 5-30980 特許番号 : 第 2816777 号
共重合体およびその製造方法

特許は発明者と公開年、出願番号、公開番号、特許番号を記載する

その他-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 1998 年
Quantitative trait locus (QTL) analysis in a Meishan x Goettingen cross population
Proceedings of the 6th World Congress on Genetics Applied to Livestock Production
26:320-323

Proceedings はその他に含める

その他-3

佐賀太郎, 2007 年
核内受容体クラス I 遺伝子とその応答配列について
動物遺伝育種研究 35:173-179